

神奈川県内におけるスズミグモの記録3例

浜口 哲一

Tetsuichi Hamaguchi: Three Records of *Cyrtophora moluccensis* (Araneidae)
from Kanagawa Prefecture

はじめに

スズミグモ *Cyrtophora moluccensis* は、コガネグモ科に属する大型のクモで、腹部の特徴的な模様、ドーム型の大きな網、その網目が細かい四角形をしている点などで他種と容易に見分けられる。南方系の種だが、新海・高野(1984)によれば、北上傾向を示しており、分布の東限は静岡県とされていた。近年では、さらに分布を拡大し、本県や東京都でも観察される機会が増えてきている(熊田ほか, 1995 など)。

筆者は、1984年に県下で2例目、3例目になる記録を報告したことがあるが(浜口, 1985)、1999年には3ヶ所での生息情報を得たので、現在までの本県内での記録のまとめとともに報告する。情報と写真を提供して頂いた、日本野鳥の会神奈川支部の浅川久子・関野祥子・船木曄子・田中和徳の各氏、原稿に目を通して頂いた東京蜘蛛談話会の池田博明氏に感謝する。

1999年の観察例

1. 秦野市弘法山(図1・2)

1999年8月11日に、浅川久子、関野祥子、船木曄子の3氏によって、雌1個体が発見され、8月12日に田中和徳氏によって写真撮影がされた。この個体の巣には、9月9日には卵囊がつけられており、手で触ったところ中から幼体が這い出してきた。同日には、別の雌を発見し、その巣には孵化していない卵囊がつけられていた。9月19日には3個体目の雌を発見し、10月16日には2個体目の巣の卵囊から出た幼体を観察した。巣はいずれも雑木林の登山道脇に作られていた(以上、浅川久子氏私信)。

2. 秦野市洪沢(峠)

1999年8月27日に、民家の庭先のキウイ棚の下で、浅川久子、関野祥子、船木曄子の3氏が雌のいる巣を観察した(浅川久子氏私信)。

3. 平塚市土屋(愛宕下)(図3)

1999年9月21日に、雌1個体を筆者が観察した。この個体は痩せた体形をしていてほとんど動かず、



図1. スズミグモのドーム型の網(1999.8.12 秦野市弘法山 田中和徳氏撮影)。



図2. スズミグモ雌(1999.8.12 秦野市弘法山 田中和徳氏撮影)。



図3. スズミグモ雌と卵囊 (1999.9.21 平塚市土屋 浜口哲一撮影)。

その巣は既に原型を失うほど壊れていた。中央には卵囊が認められたが、その中は空になっており、既に幼体が卵囊を離れたものと判断された。周辺の環境は、谷戸の奥のヨシ原に面した斜面の雑木林の林縁であり、巣はキブシの枝に作られていた。

神奈川県下における過去の記録

文献によって、現在までに神奈川県内で記録されたスズミグモの記録をまとめてみた(表1)。1980年以降、県内では本報を含めて22例が記録されており、発見地は、大磯丘陵、丹沢山麓から多摩丘陵、さらに県北部にまで及び、三浦半島をのぞいては県下一円で広く記録されている。また、雌雄が同一地点で記録された例、卵囊が発見された例、年を置いて同一地域で確認された例があり、個体数は少ないものの、本県に定着していることは確実に考えられる。

本種のような南方系の種の分布拡大は、クロコノマチョウ、クマゼミなど、さまざまな分類群で報告されており、地球温暖化との関連が話題になることがある。それぞれの由来が、その種本来の分散能力によるものか、卵などがついた植木の移動のような人為的な要因が関わっているかの判断は難しいが、少なくとも温暖化の進行が越冬を容易にし、定着を助けていることは確かであろう。こうし

た種の動向は、本県の生物相の変化を把握する上で重要なテーマの一つになると考えられ、スズミグモについても、皆さんの注目と記録の蓄積をお願いしたい。

引用文献

- 伴 満, 1996. ツシマトリノフンダマシ, スズミグモ, ムツトゲイセキグモの発見. *Kishidaia*, (70): 71.
- 伴 満・大川秀治, 1999. 神奈川県津久井郡城山町のクモ. *Kishidaia*, (76): 51-54.
- 浜口哲一, 1985. 神奈川県下のスズミグモの記録2例. *Kishidaia*, (53): 26-27.
- 池田博明, 1992. 神奈川県下のスズミグモを2例追加. *Kishidaia*, (63): 33-34.
- 池田博明, 1996. クモ類. 大磯町史 (9別編自然). pp. 603-622.
- 池田博明, 1997. クモ類. 大磯町史 (9別編自然データ集). pp. 177-191.
- 磯部達男, 1989. 神奈川県で見つけた珍しいクモ. *Kishidaia*, (59): 20.
- 小峰光弘, 1993. 観察会解散後の王禅寺にスズミグモを見た. どんぐりのあな, (67): 4-5. 多摩丘陵野外博物館.
- 熊田憲一・池田博明・谷川明男, 1995. 神奈川県産クモ類目録. *Kishidaia*, (68): 1-48.
- 大西公一, 1995. ようこそ・スズミグモ. どんぐりのあな, (89): 14-16. 多摩丘陵野外博物館.

表 1. 神奈川県下におけるスズミグモ *Cyrtophora moluccensis* の記録.

年月日	場所	観察个体数	観察者	文献
1980.7.24	横浜市港南区野庭町	1 ♀	谷川明男	谷川ほか(1982)
1984.7.20	小田原市曾我山	1 ♀	浜口哲一	浜口(1985)
1984.8.30	山北町尺里～高松山	1 ♀ + 卵囊	浜口哲一	浜口(1985)
1989.8.12	平塚市上古沢	3 ♀	磯部達男	磯部(1989)
1989.8.12	大井町金子	1 ♀	池田博明	池田(1992)
1989.8.12	大磯町国府新宿	不明	熊田憲一	池田(1997)
1989.9.15	秦野市弘法山	1 ♀ + 卵囊	谷川明男	谷川(1989)
1991.7.22	大磯町虫窪	1 ♀	丸山一子ほか	池田(1992・1996)
1992.7.31	山北町神尾田	1 ♀	浜口哲一	新海ほか(1997)
1992.8.	厚木市七沢	1 ♀ + 卵囊	唐沢良子	新海ほか(1994)
1993.8.23	秦野市蓑毛	1 ♀	及川照代	新海ほか(1997)
1993.9.19	川崎市麻生区王禅寺	1 ♀	大西公一ほか	小峰(1993)
1994.8.7	厚木市七沢	1 ♀	唐沢良子	新海ほか(1997)
1995.7.5	川崎市多摩区生田緑地公園	1 ♀	伴 満	伴(1996)
1995.7.29－8.17	川崎市麻生区王禅寺・早野	3 ♀ 2 ♂	大西公一	大西(1995)
1995.8.20	厚木市広沢寺	1 ♀	新海栄一	新海ほか(1997)
1995.9.12	秦野市寺山	2 ♀	新海栄一	新海ほか(1997)
1996.8.19	城山町	1 ♀	大川秀治	伴・大川(1999)
1999.6.21－8.9	川崎市麻生区王禅寺	3 ♀ 1 ♂	大西公一	大西(1999)

大西公一, 1999. 再見スズミグモ. どんぐりのあな, (133): 10-11. 多摩丘陵野外博物館.

新海栄一・高橋登・笹岡文雄・貞元己良, 1994. 神奈川県立自然保護センター (厚木市七沢) の野外施設に産するクモ類について. 神奈川県立自然保護センター報告, (11): 1-14.

新海栄一・高野伸二, 1984. フィールド図鑑クモ. 204 pp. 東海大学出版会.

新海栄一・山川守・熊田憲一・池田博明・谷川明男・貞元己良, 1997. 丹沢山地のクモ類. 丹沢大山自然環境総合調査報告書〈丹沢山地動植物目録〉, pp. 301-321. 神奈川県環境部.

谷川明男, 1989. 神奈川県にまたいたスズミグモ. *Kishidaia*, (59): 23.

谷川明男・飯島寿子・森美也子, 1982. 神奈川県立野庭高等学校周辺の真正蜘蛛類. *Kishidaia*, (48): 23-29.

(平塚市博物館)